

Go Beyond～今の自分を超えてゆけ！～

校長漫筆記

令和8年10月9日
姫路市立高等学校
校長通信 第23号
文責 平山智樹

市長・教育長と語る「姫路の未来」

県立高校と本校の大きな違いは、「姫路市行政との圧倒的な近さ」です。探究学習では市役所職員の方々と共に課題を考え、将来の姫路の姿を提言する連携プログラムを実施しています。



先日はその象徴として清元秀泰 姫路市長をお招きし、講演会を開催しました。テーマは「姫路と平和」で、本市が誇る3人の先人についてご紹介いただきました。

●都築 正男 氏（姫路市名誉市民第1号・医学者）

世界で初めて「原爆症」を診断した医学者で、被爆者の治療と実態解明に生涯を捧げられました。

●荒勝 文策 氏（姫路市的形出身・物理学者）

広島投下直後の土壌調査等から、いち早く原子爆弾であることを科学的に証明し、日本の終戦への決断を後押ししました。

●石見 元秀 氏（元姫路市長）

戦後復興に奔走され、姫路の象徴である「大手前通り」を、単なる美観のためではなく、「防災・避難路」として整備されました。

私たちが普段歩んでいる街並みや歴史の中に、先人による平和と命への強い願いが込められていたことに、生徒たちも深く感銘を受けていました。

また、講演後は、市長が教室へ足を運んでくださり、生徒たちが考える「姫路市の課題」について、直にディスカッションを行っていただきました。加えて、姫路市教育長も生徒の輪に入り、直接意見を交わしていただきました。

自分たちの提案や疑問に対して、市のトップである市長や教育長が正面から向き合い、アドバイスを下さる。このような体験は、「姫路市立高校」だからこそ実現できる特別な学びの機会です。

市政の最前線の方々と繋がり、街の歴史を知り、未来を議論する。これこそが生徒の主体性と地域を愛する心を育む本校の強みであり、今後も未来を切り拓く人材の育成に努めてまいります。

追記となりますが、来週開催の「全国都市立高等学校長会」にて、新設校である本校の取り組みや教育理念を全国の校長先生方へ30分間発表してまいります。本校が全国から注目されている証でもあり、本校の挑戦をしっかりと発信してまいります。なお、これに伴い来週の校長漫筆記は休刊とさせていただきます。